

# 2018年9月1日～2021年3月31日の間に岡山大学において 献体をされた御遺族の方へ

—「歯の欠損部における歯槽骨密度検査の再現性の検討」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究機関長 那須 保友

## 【研究責任者】

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

インプラント再生補綴学分野

職名：教授

氏名：窪木拓男

## 【研究分担者】

所属：岡山大学病院新医療研究開発センター

職名：助教

氏名：大野 彩

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

インプラント再生補綴学分野

職名：助教

氏名：三野卓哉

所属：岡山大学病院新医療研究開発センター

職名：助教

氏名：黒崎陽子

所属：岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科

職名：助教

氏名：中川晋輔

所属：岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科

職名：医員

氏名：樋口隆晴

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

分子医化学分野

職名：助教

氏名：大野充昭

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

人体構成学分野

職名：教授

氏名：大塚愛二

所属：岡山大学病院整形外科

職名：助教

氏名：中原龍一

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

骨そしょう症（骨密度が低くなり、骨折しやすい状態になる病気）の患者さんの増加に伴い、歯の周囲や顎の骨の骨密度低下が歯周病の発症や口腔インプラント治療の予後に関係する可能性が考えられています。しかし、歯の周囲や顎の骨の骨密度を測定する方法は、まだ十分に確立されていません。そこで今回、歯の周囲や顎の骨の骨密度検査法について、ご献体で再現性（誰が検査をしても同じ検査結果が得られるかどうか）を検討し、検査方法の確立を目指したいと考えています。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

歯の周囲や顎の骨の骨密度検査法が確立され、将来的に患者さんの治療や骨粗鬆症の早期発見に役立つ可能性が考えられます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2018年9月1日～2021年3月31日の間に岡山大学において献体された方50名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2022年3月31日

### 3) 研究方法

研究対象の方のお口の中のエックス線撮影、全身の骨密度検査（CT 撮影）をさせていただき、エックス線写真から解析を行います。

### 5) 使用する情報

献体時のアンケートから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、対象の方の個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、手術歴、既往歴、身長、体重

### 7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、半永久的に、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

### 8) 研究計画書および個人情報の開示

この研究における個人情報の開示は、故人が生前希望される場合にご遺族にのみ行います。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、献体者の試料・情報が研究に使用されることについて、ご遺族の方がご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年5月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合もご遺族の方々に不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野

氏名：中川 晋輔

電話：086-235-6682（平日：8時30分～17時15分）